2025年度　大阪バイオメディカル専門学校　学校自己評価

評価点　　５＝達成している（80%以上）　　４＝ほぼ達成している（60%以上～80%未満）

３＝普通（40%以上～60%未満）　　２＝やや当てはまらない（20%～40%未満）

１＝全くあてはまらない（20%未満）

Ⅰ．教育理念・目的・育成人材像

項目番号	設問	評価平均点	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
Ⅰ－１	教育理念は定められているか	4.0	佐藤学園綱領の唱和などによる周知が図られている
Ⅰ－２	学校の特色が明確であるか	3.6	少人数制や手厚い個別指導、就職・資格実績の強みがオープンキャンパス等で活かされている
Ⅰ－３	学校の中期計画を立てているか	3.6	数年先を見据えた議論が出ている

Ⅱ．学校運営

項目番号	設問	評価平均点	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
Ⅱ－１	運営方針は定められているか	3.9	変化する学生状況を勘案しながら、具体的な運営方針を決めている
Ⅱ－２	事業計画は定められているか	3.8	運営方針に基づく具体的な事業計画を定めている
Ⅱ－３	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	3.4	学則については毎年見直しを行っており、部門のミーティングにて意見を出し合っている
Ⅱ－４	人事や賃金面での処遇に関する制度は整備されているか	3.3	昨年度から新しい人事制度をスタートさせ、より円滑な学校運営に向け制度設計を行っている
Ⅱ－５	意思決定システムは確立されているか	3.2	いわゆるトップダウンではないので、意思決定の面でも働きやすさを感じる
Ⅱ－６	情報システム化等による業務効率化が図られているか	3.3	業務効率化を図る情報システムが導入されている

Ⅲ．教育活動

項目番号	設問	評価平均点	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
Ⅲ－１	各学科の教育目標、育成人物像は、その学科に対応する業界人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3.5	常に情報収集を行うとともに、企業と連携しながら学生のニーズに合った進路指導がなされている
Ⅲ－２	各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案し て、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	3.3	今、求められる人材について業界の方々から情報を得、それを普段の指導に活かしている
Ⅲ－３	カリキュラムは体系的に編成されているか	3.7	教育課程編成委員会を開催することにより、企業や地域のニーズを的確に反映しながら体系的にカリキュラムの編成が行なわれている
Ⅲ－４	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	3.5	教育課程編成委員会に所属いただいている企業関係者委員から幅広く意見を聴取しながらカリキュラムの編成に反映させている
Ⅲ－５	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.2	毎年、学生アンケートを実施するとともに、教員相互の授業評価を行い、教員の授業力向上と学生の満足度の向上に努めている

Ⅲ－６	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.5	講師採用の判断材料に実務経験の有無を考慮に入れ、有能な人材の確保に努めている
Ⅲ－７	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3.3	履修規定の適宜見直しや修正を行いながら、学生状況に見合った成績評価や単位認定を行っている
Ⅲ－８	資格取得の指導体制はあるか	3.6	アフターフォローや長期休暇中の特別講義等を実施し、各資格試験について合格率を高めるために指導を行っている

項目番号	設問	評価平均点	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
Ⅳ－１	就職率の向上が図られている	3.5	模擬面接や履歴書の書き方指導を行いながら就職率の向上に向けた取組みをきめ細かく行っている
Ⅳ－２	資格取得率の向上が図られている	3.4	資格取得に向けたカリキュラムの編成を考慮するとともに事前対策を入念に行っている
Ⅳ－３	退学率の低減が図られている	3.4	学生一人ひとりの生活環境や身体的・精神的な面もサポートしながら退学率の低減に向けたきめ細かい指導を継続している。
Ⅳ－４	卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	2.7	卒業後の活躍、就業先での状況など把握している

Ⅴ．学生支援

項目番号	設問	評価平均点	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
Ⅴ－１	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	3.7	各学科ごとに学生状況に見合った適切な指導が行われている
Ⅴ－２	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	3.7	カウンセラーを配備し、学生相談体制を整備しているが、一層の体制整備をすすめていく必要がある
Ⅴ－３	学生の経済的側面に対する支援制度が全体的に整備され、有効に機能しているか	3.7	延納、特別分納等が必要な学生には別途対応を行っている
Ⅴ－４	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	3.5	養護教諭を配備し、心身ともに不調を訴える学生への対応を進めている
Ⅴ－５	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	3.0	課外活動として、フィールドワークやボランティア活動等を行う学生への支援を適切に行っている
Ⅴ－６	学生寮等、学生の生活環境への支援が行われているか	3.6	学生の生活面においてもコミュニケーションがよく取れている
Ⅴ－７	保護者と適切に連携しているか	3.6	日常的に連携を深めながら学生生活の支援に努めている
Ⅴ－８	卒業生への支援体制はあるか	3.5	資格取得のためのアフターフォロー体制が整備されている

Ⅵ. 教育環境

項目番号	設問	評価平均点	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
Ⅵ－１	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3.6	常に不具合が生じていないか、各クラスで点検を行っている
Ⅵ－２	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.4	国内の実習・インターンシップにおける連携やフォローは整備されている
Ⅵ－３	防災に対する体制は整備されているか	3.7	毎年、避難訓練を行うとともに法定点検による指導に基づき適正に防災体制を整備している

Ⅶ. 学生の募集と受け入れ

項目番号	設問	評価平均点	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
Ⅶ－１	学生募集は適切に行われているか	4.0	数値に必ずしも反映されていないかもしれないが、適切には行われている
Ⅶ－２	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.8	受け入れた学生の学習状況や進学先、検定合格状況など適宜連絡をしている
Ⅶ－３	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	3.8	担当者からの事前の聞き取りや事前相談を綿密に行うとともに適正かつ公平に実施している
Ⅶ－４	学納金は妥当なものとなっているか	4.2	近年の物価高騰を考慮しても他校比で妥当な設定と考える

Ⅷ. 財務

項目番号	設問	評価平均点	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
Ⅷ－１	中期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか	3.3	法人全体としての財務基盤は、ある程度安定した状態で推移していく見込みである
Ⅷ－２	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.7	予算・収支計画は妥当であり、計画に基く経費の使用が行われている
Ⅷ－３	財務について会計監査が適正に行われているか	4.7	監査役が適正に行っている
Ⅷ－４	財務情報公開の体制整備はできているか	4.7	学校法人としての公開義務は果たしているものと認識している

Ⅸ. 法令等の順守

項目番号	設問	評価平均点	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
Ⅸ－１	法令、設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	4.4	顧問弁護等の意見を聞きながら適正に行われている
Ⅸ－２	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4.2	Web研修の実施やメール送信アラート、暗号化等の対策は機能している
Ⅸ－３	(学校)自己点検・(学校)自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.6	定期的に個別面談や自己評価の見直しの機会がある
Ⅸ－４	(学校)自己点検・(学校)自己評価の結果を公表しているか	4.2	学校のホームページなどを活用し、公表している

Ｘ．社会貢献

項目番号	設問	評価平均点	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
Ｘ－１	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3.4	大阪市との連携など、本校に生徒学生を招いて体験実習などを実施している
Ｘ－２	学生のボランティア活動を推奨し、支援しているか	3.9	エコキャップ回収、能登半島地震ボランティアへの引率、ボランティア論の授業の実施等を行っている